

札幌北リトルシニア球団 団訓

一、礼儀、素直な心と感謝の気持ちで相手に伝わる挨拶をいつも心がけること 返事ははっきりと大きく

- ・全ての人間関係は、挨拶からはじまる。朝の挨拶、おはようございます。帰りの挨拶、お先に失礼します。
バッティングゲージに入る時、ノックを受ける時には御願います。終わった時は、ありがとうございました。
名前を呼ばれたら大きな声で「はい」と返事をする。
素直に聞く気持ち、聞く耳を持たないと将来の成長を逃すことになる。

一、責任、連帯責任の意識を持つこと。先輩は良き手本となり後輩を指導し、後輩は先輩の良き手本を引き継ぐこと。

- ・野球は一人では出来ない。一人の怠慢な行動が皆に迷惑を掛けてしまう。先輩は、威張るのではなく
先頭に立って見本となり後輩を引っ張る。後輩は先輩の良い見本を真似し自分が先輩になった時に後輩に引き継ぐ

一、野球の姿勢 喜びも苦しみも全員で乗り越え結果を恐れず闘志あふれる全力プレーで行うこと

- ・チーム全員で喜び苦難を乗り越える。自分を信じて練習の成果を出す。失敗を恐れず常に前へ積極的に

一、常に工夫と日々の努力 基本を忠実に守り継続すること

- ・練習内での基本、守備では捕球姿勢、バッティングでは悪球に手を出さない、自主練習では素振り
柔軟体操、筋力トレーニング、ダッシュなど徹底的に鍛える。
継続は力なり 継続することは困難であるが、継続することで成功率が上がり自信につながる。

一、整理整頓 道具は常に大切に使う。グラウンドに心を入れ感謝の気持ちで整備すること

- ・帽子、ユニホーム他身につける物又、グローブ、バット、スパイクは父や母が一生懸命稼いだお金で
あることを絶対に忘れないこと。
グラウンド、室内練習場に於いては常に整備・清掃を怠らないこと

一、心・技・体 初心を忘れず技を磨き体を鍛えること。もう一人の弱い自分に負けないこと

- ・野球を始めた時の気持ちを忘れないこと。日々の自主練習で技術を反復し継続すること
食事をしっかり摂ること。睡眠もしっかりと摂ること。
決して自分を甘やかさない。練習において自分に厳しく限界へ挑戦する気持ちを忘れない。